横浜北東　発行：日本共産党横浜北東地区委員会　横浜市鶴見区潮田 3-147-6　電話 045-511-1021　2022.11.30 号

前県会議員

木佐木（きさき） ただまさ news

日本共産党
見解を紹介します

Profile
・1984 年山口県出身
・鶴見区馬場在住　・神奈川大学法学部卒　・横浜健康友の会会長　・横浜東民商顧問

真ん中世代で県・市政学習会

生活と政治どう関係してる?

25 日、同世代の仲間に向けて市政県政の政策学習会を行いました。市政を古谷市議、県政を私が、そして統一協会などの霊感商法や消費者被害については畑福生（とみお）弁護士が講師となりました。

県の役所が直接窓口となって住民と接する機会はとても少なく「住民の生活にどう関係しているのか？」との質問がよく寄せられるので、そうしたことにも答えました。県議会に戻り正したいこととして、医療や水といった命にとってとても大切なものをビジネスチャンスとして企業に参入させようとする危険な動きがあること、「ともに生きる」と銘打ちながら朝鮮学校への補助金不支給を続けていること、特別支援学校の不十分な環境を放置していることなど県政は共生社会からほど遠い現状にあることを話しました。

自治体に望むことを双方向で交流することで、私自身も学ぶ機会となりました。議員になってもこうした場を継続的に持っていきたいと感じました。そのためにはまず、4 月の選挙にしっかりと臨みたいと思います。

ただまさヒストリー

「ワンワン戦争」

私が小学一年になる年の4月に、母が町議会議員選挙に立候補しました。

立候補した菊川町（現在は下関市に合併）では、共産党議員がいたことがないだけでなく、女性議員もいなかったとのことでした。「共産党員は、鬼みたいな顔しちょるんか?」など当時本気で言われたそうです。一家で隣町の菊川町に移住しての選挙でもあり、当時 36 才の母がどれほどの一大決心だったか、今なら理解できます。川沿いにプレハブ倉庫を並べて選挙事務所にしていた光景を今でも覚えています。

選挙前の宣伝カーに私も乗って一緒に町内を回っているとき「ワンワン戦争は許しません」という言葉が聞こえ、「共産党は犬同士の争いも止めようとしてるんだ」と感心しました。その後、ミサイルを撃ち込む映像を目にするようになり、「ワンワン戦争」ではなく「湾岸戦争」だったのかと気が付きました。でも、あらゆる戦争をなくした先には、犬のケンカもなくなるのかも?

毎月開催 **無料生活・法律相談**　TEL045（504）5121　鶴見区潮田町 2-120-2
あなたの力を貸してください！党鶴見区後援会へご参加ください。